

## コース修了申請書ご提出前に以下をご確認ください

- ・申請者欄はすべて記入してください  
申請内容の確認ができた時点で、メールでご連絡いたします  
メールアドレスは必ず正確にご記入ください  
尚、設定状況によってメールが届かない場合もありますので  
提出後 2 週間を過ぎても連絡のない場合は、事務局までご連絡ください
- ・取得完了講座受講予定  
単位取得を完了する講座を記入してください（例：1 月 16 日東京講演）  
該当講座にて修了証を授与いたします  
郵送を希望される場合は講座のかわりに「郵送希望」と記入してください
- ・取得した単位（受講した講座）は、単位免除欄に数字を記入してください

離床アドバイザー認定対象の方（理論・実技両コースを修了される方）は

- ・所属施設名の掲載希望  
当会ホームページ「認定試験・資格」をクリックすると表示される画面の  
「在籍施設」に資格認定者所属施設が掲載されます  
掲載を希望されない方は必ず【希望しない】にをつけてください  
掲載の所属施設が変わった場合は事務局までご一報いただければ幸いです
- ・認定カード用写真  
郵送で申請の場合：証明書サイズの写真（縦 4 cm×横 3cm）を申請書に貼っ  
てお送りください  
お写真は認定カードと共にお返しいたします  
FAX で申請書の場合：別途メールに貼付して写真をお送りください  
尚、写真なしのカードをご希望の場合はその旨一筆書き添えてください

申請書送付先：日本離床研究会 離床アドバイザー資格担当 係

郵送の場合 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 プラールビル 2F

ファックスの場合 03-6272-9683

ご不明な点などは日本離床研究会事務局へご連絡ください

e-mail: jsea@rishou.org tel: 03-3556-5585（月～金 10 時～17 時）

# 日本離床研究会 コース修了申請書

このたび、研究会所定の単位をすべて取得いたしますのでここに申請いたします。 申請日： 年 月 日

フリガナ 氏名： _____ 〒 _____ 住所： _____ 連絡先tel： _____ E-mail： _____ 所属施設名： _____ ホームページの在籍施設に掲載を <input type="checkbox"/> 希望しない 取得完了講座受講予定： _____ 月 _____ 日 (開催都市名) 講演 <input type="checkbox"/> 郵送希望	離床アドバイザー 認定カード用写真  ここに貼付してください (縦4cm x横 3cm) 後日お返しします
--	--

**【理論】(必要単位数: カテゴリーに関係なく下記講座から7単位) ※受講単位数を左記空欄に記載ください。**

◆ 基礎理論講座	講座コード	◆ 疾患各論講座	講座コード
実践！早期離床ベーシックコース	K-01 <small>全国研修会</small>	こわい！急性期の落とし穴 術後の早期離床(ADLアップ)に10倍自信が持てるセミナー	R-13
必修 早期離床入門セミナー～一歩進んだ離床の考え方と臨床の視点～	K-04	心臓血管外科術後の早期離床～急性期における介入戦略とその展望～	R-14
早期離床のリスク管理～「起こしたから悪くなった」といわれないために～	K-02	ここがポイント！整形外科術後急性期に起こるトラブル対策とADLアップのコツ	R-15
一歩先のMobi-Care(MCT)をマスターしよう	K-03	臨床評価のポイント上級編 肺炎時の呼吸ケアと早期離床戦略	R-16
これができなきゃ始まらない！実践！離床技術入門	K-05	シリーズ「摂食・嚥下」 積極的アプローチで誤嚥性肺炎をゼロにするための考え方	R-17
◆ 総論講座		これなら自信が持てる！自分の脳も変えられる脳卒中セミナー	R-18
全国研修会・学術大会(2018年以降)	R-00	嚥下造影(VF)がない状況下での嚥下アプローチ	R-19
急性期リハビリテーションにおける臨床評価のポイント(基礎コース)	R-01	脳卒中患者の疑問がスッキリ晴れる！ とっておきの検査・データ「マル秘」判読講座	R-20
ICU/超急性期における重症患者の基礎評価 呼吸・循環編	R-02	本当にこれでいいの？ DVT・リンパ浮腫対策(2017年以前開催) ～最新のエビデンスに基づいたアプローチの実際～	R-21
◆ 各論講座-呼吸器系		本当にあった怖い話 症例で学ぶ呼吸・循環アセスメント60 ～急変を防止、離床を成功させる究極の評価～	R-22
わかる！読める！胸部レントゲン写真読影の実際	R-03	リハビリ・看護に必須となる薬剤の基礎知識 ～投薬から見抜く安全な離床戦略～	R-23
シリーズ「人工呼吸器」理論編 これ你放心！ スタッフの人工呼吸器アレルギーをゼロにする基礎講座	R-04	知ったかぶりからクスリ博士に！苦手の薬剤完全攻略セミナー ～薬と離床は関係ないと思っている全ての人へ～	R-24
シリーズ「人工呼吸器」臨床編 やってはいけない！人工呼吸器ケア 症例を通して学ぶ呼吸ケアと早期離床の実際(2017年以前開催)	R-05	これで不安も一気に解消！ パニックにならない検査・データ読み解きのキホン	R-24
人工呼吸器装着患者の看護ケア・リハビリに必要な 鎮静・せん妄・筋力低下の最新知識 ～挿管患者を歩かせるために～	R-06	脳卒中の看護ケア・リハビリテーションに必要な高次脳機能 障害の基礎知識 的確なゴールを予測するための臨床応用法	R-25
苦手を克服！ 酸素療法・人工呼吸器の基礎と呼吸アセスメント	R-07	漠然とした呼吸の不安を解決「こんなはずじゃなかった」と後悔しない ための回復期・在宅呼吸アセスメント講座	R-26
◆ 各論講座-循環器系		最新エビデンスに基づく整形外科領域の看護ケアとリハビリテーション ～臨床に即したQ&Aから学ぶアプローチの基礎～	R-27
シリーズ「循環」 苦手を克服！ 循環機能の評価(アセスメント)と早期離床[基礎・評価編]	R-08	リハビリ・看護ケアに活かす臨床画像判読講座 ～読まず嫌いで患者を危険な目にあわせないために～	R-28
ライブ感覚で学ぶ！離床ができる循環相談所	R-09	しまった！ワタシこれ見落としてた！！ 2度同じ失敗を繰り返さないための血液データ判読講座	R-29
シリーズ「循環」臨床編 ちょっと待った その症状キケンですよ！ “離床で急変”の恐怖から患者を守る循環アセスメント講座	R-09	あなたの“わからない”がソックリとした急変を招く！ズバリココ！ 循環アセスメントの全てがマンガでわかるセミナー キホン編	R-30
今さら聞けない！循環アセスメントのポイント“50”	R-10	ベテランはココを診ている！重症患者のアセスメント“勘”ドコロ “やりがい”+“安全な離床”を実感するためのヒントと実践	R-31
離床時に必須！初心者にはゼッタイわかる心電図	R-11	がん領域における看護ケアとリハビリテーション ～発症から終末期までのエビデンスと臨床介入のポイント～	R-32
あなたのアプローチが劇的に変わる！ “見て見ぬふり”から抜け出す回復期・在宅循環講座 ～永続的離床生活を送ってもらうために～	R-12		

**【実技】(必要単位数: カテゴリーに関係なく下記講座から7単位) ※受講単位数を左記空欄に記載ください。**

◆ 基礎理論講座	講座コード	◆ 実技系講座	講座コード
実践！早期離床ベーシックコース	K-01 <small>全国研修会</small>	マスターしよう！体位変換	J-01
必修 早期離床入門セミナー～一歩進んだ離床の考え方と臨床の視点～	K-04	マスターしよう！移乗動作	J-02
早期離床のリスク管理 ～「起こしたから悪くなった」といわれないために～	K-02	どうにかしたい！ 徒手呼吸介助と排痰技術 ～離床を円滑に進めるための一歩踏み込んだ臨床活用術～	J-03
一歩先のMobi-Care(MCT)をマスターしよう	K-03	拘縮はゼッタイ起こさない！関節可動域ROMエクササイズ	J-04
これができなきゃ始まらない！実践！離床技術入門	K-05	ADLアップに直結！早期離床のワザと病棟リハビリ	J-05
◆ 評価・アセスメント講座		シリーズ「人工呼吸器」臨床編 やってはいけない！人工呼吸器ケア 症例を通して学ぶ呼吸ケアと早期離床の実際(2018年以降開催)	J-08
モニター・機器が少ない状況下における早期離床 ～フィジカルアセスメントを活かした状況判断のコツ～	J-06 <small>全国研修会</small>	本当にこれでいいの？ DVT・リンパ浮腫対策(2018年以降開催) ～最新のエビデンスに基づいたアプローチの実際～	J-09
誰も教えてくれないコツがここにある！ フィジカルアセスメント完全攻略セミナー 実技レクチャー	J-07	現場のお悩み即解決！ フレイルの知識と看護ケア・リハビリテーション戦略 ～一手先行く、ポジティブアプローチ～	J-10
実技と模擬体験で学ぶ！危険を事前に察知するための 呼吸循環フィジカルアセスメント講座			

※下記に該当する場合は所定の単位が免除されます。

全国研修会ハンズオンセミナー(実技系)を2講座受講	1単位	離床ブレアドバイザー試験に合格	3単位
全国研修会ハンズオンセミナー(教育系)を2講座受講	1単位	インターネットセミナーレポートを3本提出(上限2単位)	1単位